

指導要領	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
(1)ア	目的に応じてコンピュータや情報通信ネットワークを適切に活用し問題解決を効果的に行うために解決手順の工夫をしようとする。	目的に応じた問題解決を行うために、情報機器の利用を含めた効果的な解決手順を考える。	問題解決を効果的に行うために、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用する。	問題解決を効果的に行うためには、目的に応じた解決手順の工夫とコンピュータや情報通信ネットワークなどの適切な活用が必要であることを理解する。
(1)イ	情報機器を適切に活用と伝達内容に適した提示方法の工夫で情報の的確な伝達をしようとする。	情報を的確に伝達するために、伝達内容に適した提示方法の工夫をする。	情報を的確に伝達するために、目的に合わせて情報機器を適切な選択をする。	情報を的確に伝達するためには、伝達内容に適した提示方法の工夫と適切な情報機器の活用が必要であることを理解する。
(2)ア	必要な情報を効率的に検索・収集するために情報通信ネットワークやデータベースなどを適切に活用しようとする。	情報機器と手作業で情報の検索・収集・処理を比較し、目的に応じた解決手順の工夫をする。	必要とする情報を効率的に検索・収集・処理する方法を選択し活用することができる。	情報機器や手作業の処理など問題を解決する方法には様々な方法があること、解決方法によって作業効率や結果が異なること、さらに情報を提供する側の工夫で情報収集の効率が向上することを理解する。
(2)イ	情報の表し方の取決めを理解して情報の共有と効果的に発信しようとする。	情報の共有と効果的な発信をするための工夫をする。	情報通信ネットワークを用いた情報の共有と効果的な発信ができる。	情報を効果的に発信したり、情報を共有したりするためには、情報の表し方に工夫や取決めが必要であることを具体的に理解する。
(2)ウ	情報機器を利用した情報の収集・発信の際に起こり得る具体的な問題に関心がある。	情報社会で必要とされる心構えについて考える。	情報機器を利用した情報の収集・発信の際に起こり得る具体的な問題を回避方法を選択することができる。	情報機器を利用した情報の収集・発信の際に起こり得る具体的な問題とそれを回避する方法を体験的に理解する。
(3)ア	情報を統合することに関心を持ち、情報機器やソフトウェアで情報をデジタル化しようとする。	多様な形態の情報をデジタル化するための方法を考える。	多様な形態の情報をデジタル化する場合情報機器やソフトウェアを選択することができる。	情報機器を利用して多様な形態の情報をデジタル化することによって統合できることを理解する。
(3)イ	著作権などに関心を持ちながら、計画的に多様な形態の情報を目的に応じて統合し、改善しようとする。	多様な形態の情報を著作権などを考慮しながら統合する計画を立て、統合し評価する。	収集した多様な形態の情報を目的に応じて統合的に処理することができる。	収集した多様な形態の情報を統合的に処理する方法と制作物を評価する方法を理解している。
(4)ア	情報化の歴史的な変遷、情報機器の発達、情報のデジタル化に関心を持つ。	アナログ方式の処理とデジタル方式の処理を比較する。	情報機器の発達の歴史としくみを調査し、デジタル情報を定量的に求めることができる。	情報化の歴史的な変遷、情報機器の発達、情報のデジタル化の特性を理解する。
(4)イ	情報を生活に役立て主体的に活用しようとする。 情報化の進展が生活に及ぼす影響に関心を持つ。	情報化の進展が生活に及ぼす影響を考える。 情報を生活に役立て主体的に活用する心構えについて考える。	情報化の進展が生活に及ぼす影響について調査・討議することができる。	情報化の進展が生活に及ぼす影響を理解する。
(4)ウ	情報社会に関心を持ち、将来にわたって情報技術の活用能力を高めていこうとする。	個人が情報社会に参加する上で必要なことを考える。	情報社会への参加に必要な情報技術を選択することができる。	情報社会に参加する上で情報の活用能力が重要であり、将来にわたって情報技術の活用能力を高めていくことが必要であることを理解する。